

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石市魚市場生産・機能体制強化事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-27-8427
施策②	釜石市魚市場を中心とした生産・流通体制の強化	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	補助
事業期間	令和3年度～令和10年度		
事業の概要			
水産物流通において、中枢的な機能を持つ魚市場であるが、秋サケ、サンマなど主要魚種の水揚げ不振により厳しい状況が続いている。本事業は、漁船漁業者等への氷代補助や廻来船誘致活動を行い、水揚げ増加につなげ、魚市場の体制強化、ひいては漁業所得の向上を目指すもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
主要魚種の不漁等により、水揚げ量が減少している。それに伴い、魚市場の運営体制が脆弱化し、漁業者へのサービスが低下しており、他魚市場へ水揚げする漁業者の燃油代など固定経費増加で漁業所得が増加しない。	
目的	
漁業者への氷代補助や廻来船誘致等の水揚げ増強対策を行うことで魚市場のサービス向上を図り、漁業所得を増加させたい。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①水揚げを行う漁業者が魚市場から購入した氷代金に対する補助 ②魚市場の水揚増強対策事業への補助 ③水揚げ漁業者への御礼 ④魚市場パンフレットの作成		
事業費		
R 8	R 9	R 10
8580 千円	8580 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
主要魚種（サケ・サンマ等）の不漁により魚市場運営が厳しい状況にあることから、水揚増強対策等により魚市場の生産・機能体制の強化を図る本事業は重要である。 廻来船誘致や支援策を継続し、効果検証を踏まえた取組の改善により、魚市場運営の安定化と漁業者所得の向上につなげられたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	水産加工業人材確保支援事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-27-8427
施策②	釜石市魚市場を中心とした生産・流通体制の強化	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	令和3年度～令和9年度		
事業の概要			
当市の基幹産業である水産加工業におけるデジタルトランスフォーメーションの推進による付加価値額と給与支給額の向上を目指す事業者を支援するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 当市の基幹産業である水産加工業の人材が不足しており、外国人技能実習生等の受け入れにより補われている。 	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用した生産活動の推進や働きやすい職場環境作りを行い、安定的な雇用に結びつける。 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 釜石市水産加工業人材確保支援事業費補助金により金銭面での事業者負担を軽減。 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
0 千円	0 千円	6000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
当市の基幹産業である水産加工業において、デジタルトランスフォーメーションの推進による付加価値の向上や、女性従業員が働きやすい職場環境の整備を支援することは重要である。引き続き、本事業を通じて市内事業者の雇用維持及び経営の安定が図られるよう取り組まれない。			

1. 事業の概要等

事務事業名	さかなのまち活性化事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-27-8427
施策②	漁協の生産体制の強化と漁業者の所得向上	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	令和5年度～令和9年度		
事業の概要			
日本固有の在来種であり、高級魚でもあるサクラマスをはじめとした海面養殖事業を産学官連携により、安定的収入の確保が望める養殖事業として確立、維持するとともに、養殖生産に新規参入しやすい環境作りやサクラマス養殖生産量が国内最大規模である強みを生かし、市内外の認知度向上、流通・消費拡大するための活動や組織づくり、プロモーションを強化し、さかなのまち活性化を推進するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
地域水産業の主力漁獲物の不漁、水産業の担い手減少、水産加工業における原料の確保が厳しくなっている中で、令和4年10月にサクラマスの海面養殖が事業化されたことにより生産量が増加してきているが、消費・流通拡大するためのブランド化に向けた取組が求められている。	
目的	
効率的な生産が可能な養殖種苗を開発することで養殖生産の拡大を図ることに加えて、釜石はまゆりサクラマスのブランド化を推進することで水産業の担い手確保及び漁業所得の向上を目指す。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①サクラマス PR 活動：フェア開催、地元事業者による組織づくりやその活動支援 ②販促物作成：ポスター、幟等の販促物の作成 ③フォーラム開催：サクラマス研究内容を発表 ④大学と連携した共同研究：種苗開発及び効果的なプロモーション手法の開発 ⑤広報 PR：市広報や各種 SNS 等で情報発信		
事業費		
R 8	R 9	R 10
11000 千円	11000 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
水産業を取り巻く環境が厳しい中、養殖サクラマスの種苗開発とプロモーションを通じて地域ブランド化、流通・消費拡大を図る本事業は重要である。関係機関・事業者との連携を強化し、安定供給と市内外の流通の仕組みづくり、事業者参画の拡大を進めながら、効果的な取組を実施されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	畜養ウニ産業化構築支援事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-27-8427
施策②	漁協の生産体制の強化と漁業者の所得向上	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	補助
事業期間	令和7年度～令和9年度		
事業の概要			
市内漁業協同組合が取り組むウニ畜養事業の一部経費の補助を行い、持続的な体制構築までの支援をするほか、生産された畜養ウニの流通・販売拡大のため消費者のニーズ調査等の実施を検討していくことで当市における持続可能なウニの畜養事業のビジネスモデルを確立し、新たな収益事業による漁業協同組合の生産体制の強化ひいては漁業者の所得向上を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から実証試験を行っているウニ畜養事業について、これまで一定の成果があげられたものの、販路先の確保や職員の負担が大きいことから持続的な事業実施が困難な状態となっている。
目的
<ul style="list-style-type: none"> 持続可能なウニ畜養事業モデルを確立することで市内漁業協同組合の生産体制の強化ひいては、漁業者の所得向上を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ウニ畜養事業に対する補助 畜養ウニの販売拡大調査委託（令和8年度～） 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
2000 千円	2000 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
持続可能なウニ畜養サイクルの確立に向け、関係機関・関係事業者と連携し、収益性の向上、職員負担の軽減、販路の確保及び出荷方法の検討等を進めながら、事業の推進を図られたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	県営漁港整備負担金		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-22-2111
施策②	漁協の生産体制の強化と漁業者の所得向上	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	平成23年度～令和10年度		
事業の概要			
市内全14漁港の内、6港ある県管理漁港の施設の老朽化対策、防波堤整備、耐震・耐津波対策、防波堤・岸壁の改良、漁港機能の増進を図るため、県営漁港整備事業に対し事業費の10%を定額負担し漁港施設の基盤整備・維持を行うもの。これにより、市内漁港の基幹的な漁港である県管理漁港の安全かつ効率的な漁業活動の基盤を確保するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
東日本大震災津波により岩手県管理漁港施設も甚大な被害を受けたが、漁港の災害復旧工事も進捗し、漁業活動も再開されているところである。 市内全14漁港の内、県管理漁港は6漁港あるが、漁港施設の老朽化対策、防波堤整備、耐震・耐津波対策、防波堤・岸壁の改良、漁港機能の増進を図る必要がある。	
目的	
市内全部の漁港の年間水揚げ量約15,000トンの内、約9割、約14,000トンの水揚げがある県管理漁港の安全かつ効率的な漁業活動の基盤を確保する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
【釜石漁港】臨港道路法面工1式、防波堤120m、岸壁80m【箱崎漁港】防波堤改良 20m 【白浜(鵜)漁港】防波堤改良 20m 【両石漁港】防波堤改良 50m、護岸改良 20m 【唐丹漁港】西防波堤改良 120.2m、物揚場改良 91m、岸壁改良 120m、導流堤 99.7m		
事業費		
R 8	R 9	R 10
28743 千円	68200 千円	68200 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
漁協の生産体制強化に資するため、県と連携しながら、漁協施設の機能保全及び機能強化を計画的に推進されたい。あわせて、定期的な点検・診断の実施や補修履歴の活用による予防保全型の維持管理を徹底し、施設の長寿命化を図られたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石市農畜産業振興総合支援事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	釜石型農業の確立と担い手の確保	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	補助
事業期間	令和3年度～令和10年度		
事業の概要			
<p>当市農畜産業は、農畜産業者の高齢化等による担い手不足に伴う遊休農地の増加や公共牧場の遊休化面積の拡大等が課題となっている。新規就農者や意欲ある担い手農家と畜産業の生産の拡大・安定化を総合的に支援することで、新規就農を促進し、労働力確保や販路・経営規模の拡大を推進し、農畜産業振興を図るもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>当市の総農家数は10年前に比較して4割減少し、農業従事者の減少・高齢化が進行する中で遊休農地等も増加している状況にある。このことから、新規就農者の確保等による労働力の確保および意欲ある担い手農家の規模拡大への生産基盤の整備が課題である。</p> <p>また、畜産業においては、ピーク時に1,000頭規模で営農されていた当時から、現在は畜産農家が12戸、生産頭数も減少が続いている。</p>	
目的	
<p>農業振興の活性化、農業従事者の維持を図りつつ、新規就農者の確保を図るとともに、農業経営の規模拡大による所得向上を図る。</p> <p>肥育頭数を増やすことによる公共牧場の活用を図り、畜産業拡大の契機とする。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>令和6年度まで釜石市農業振興総合支援事業補助金制度を運用してきたが、令和7年度からは畜産業支援も加え、釜石市農畜産業振興総合支援事業補助金とし、農業、畜産業両方の生産振興と担い手育成等を総合的に支援することで新規就農者や意欲ある担い手農家の負担を軽減する。また、市内産農産物を活用する市内事業者への支援を行うことで、市内産農産物の販路確保と活用促進が図られる。</p>		
事業費		
R 8	R 9	R 10
3000 千円	3000 千円	3000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
<p>釜石の農畜産業の振興を推進するうえで重要な事業であり、国・県補助の活用が難しい事業者等を下支えする観点からも、農業者等の声を踏まえた機動的な支援を継続することが必要である。一方で、各補助メニューについては、活用実績や成果を踏まえ、ニーズと効果を検証したうえで、補助内容や上限額等の見直しを行うなど、限られた財源の中でより効果的な制度設計となるよう、補助メニューの再整理を検討されたい。</p>			

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石型農業活性化事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	釜石型農業の確立と担い手の確保	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	補助
事業期間	令和6年度～令和8年度		
事業の概要			
<p>当市農業の課題解決のため、これまで釜石型農業推進事業として収益性の高い農産物の導入や地産地消の推進等により、甲子柿やクッキングトマトすずこま等の付加価値の高い農産物の導入、軽トラ市の開催や学校給食による地産地消の普及・定着が図られてきた。今後、釜石型農業を活性化事業として、市内外へのPRや安定的な販路確立を目的とした事業を行うことで、農業産出額の向上と担い手の確保・育成を図るもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<p>これまで実施してきた釜石型農業推進事業の成果により、付加価値の向上や新たな販路の確保が図られてきており、生産量の拡大や新規参入者の増加が見られる状況である。今後の生産量の増加や担い手の増加を想定し、市内外の企業等との連携による安定的な販路の確保、出荷・販売体制の構築が望まれる状況である。</p>
目的
<p>釜石型農業として収益性の高い農業モデルの確立・活性化を図り、市内農業者の所得向上、市内産農産物の付加価値の向上、地産地消の推進を図が図られる。</p>

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・国のGI制度に登録されている「甲子柿」の全国的な認知度向上と安定的な販路の確保、傷害果の活用の促進 ・新たな地域振興作物のクッキングトマト「すずこま」の愛称（かまとまちゃん）の決定と普及、付加価値の向上 ・地産地消の定着に向けた定期的な軽トラ市の開催および、他団体との軽トラ市交流による連携・意識啓発 ・生産者と児童生徒の交流給食の実施による地産地消の意識啓発 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
900 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
<p>釜石ならではの農業展開に向け、甲子柿・すずこまの生産拡大と加工品開発、農福連携・スマート農業実証、軽トラ市等による地産地消を推進し、販売者との連携強化を通じて農業者の所得向上と経営安定化を図る事業を推進すること。</p>			

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石産農畜産物 PR 事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	釜石型農業の確立と担い手の確保	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	新規
5つの柱	産業の振興	補助・単独	補助
事業期間	令和7年度～令和9年度		
事業の概要			
釜石産の農畜産物（甲子柿、すずこま、鶏肉など）のPRを行い、認知度向上と需要拡大を図るもの。これにより農業者の生産意欲や所得向上に繋がるとともに、高付加価値農産物を活用した営農スタイルの構築や担い手の確保が期待される。また、当市の気象条件の優位性や、震災後に整備された三陸道によるアクセスの良さも併せて発信し、事業の拡大を目指すもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
市内農畜産物について、市内外の消費者の認知度が低く、利用したい事業者も販路が分からないなど消費拡大の障害となっており、生産者のモチベーション低下の要因ともなっている。	
目的	
釜石産農畜産物の認知度向上や需要拡大が図られることで、生産者がやりがいを持って営農を行い、農畜産物をいつでもどこでも購入することができる状況を作っていく。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市内外における農畜産物のPR活動。 PR大使に当市にゆかりのある芸能人を起用し、幅広いPRの実施。 商品開発に係るサポート支援		
事業費		
R 8	R 9	R 10
4800 千円	4800 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
当該事業は、釜石産農畜産物の魅力を市内外に発信し、認知度向上と需要拡大を通じて生産者の意欲醸成や所得向上、担い手確保につながる重要な取組である。 生産者・事業者連携の取組と併せ、地域の優位性を効果的に情報発信することで、さらなる事業拡大が見込まれる事業となるよう推進されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	観光農園設置事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	釜石型農業の確立と担い手の確保	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	補助
事業期間	令和3年度～令和8年度		
事業の概要			
遊休農地を活用し、市民が憩う場所、自然や農業に触れる機会を創出しながら教育面、福祉面、観光面、国際交流等にも寄与する場としてのラベンダー観光農園を拡張整備を行い、苗の定植を甲子小学校児童・保護者、幼稚園児、希望する市民らと行う定植会を開催するもの。また、姉妹都市であるディーニュ・レ・バン市から寄贈されたラベンダー種子から、市内に定植する苗の育苗を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
高齢化や担い手不足による農地の遊休化が進み、市内の景観が悪くなるほか、荒れた農地は野生動物が里山に住み着く原因ともなるため、鳥獣被害にも繋がっている。拡大する遊休化の中で、有効な農地の活用に至っていない。	
目的	
遊休農地の解消を、市民の健康や教育、福祉面で有効に活用しつつ、交流人口を増やすため観光面にも寄与しながら行った。また、姉妹友好都市との友好関係維持や更なる交流のためにも活用した。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
遊休となって使われなくなった農地を整備し、ラベンダー苗を定植した。苗の定植は、設置対象地の地元である甲子小学校児童と保護者、幼稚園児や希望する市民、関係団体と協働で定植会を開催し、補植を実施した。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
1600 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
遊休農地の解消や農福連携、国際交流の観点から一定の成果が期待できる。一方で、農業振興の目的・効果が明確となるよう事業内容の再整理を検討されたい。あわせて、維持管理コストや運営体制を踏まえ、持続可能な事業展開となるよう今後の方向性を整理されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	森林経営管理事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-22-2111
施策②	森林経営管理制度による地域林業の成長産業化への取組の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和10年度		
事業の概要			
森林経営管理制度の推進に必要な意向調査や集積計画案の作成、その作成に必要な森林の現況調査のための航空レーザー計測等を実施し、森林管理の実施につなげるもの。その他、林業の担い手確保・人材育成事業や、市民生活に影響を及ぼしている支障木を除去する森林環境整備事業を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
森林を相続などで所有したが、どのように管理していけばよいか分からない、もしくは管理が出来ない。また、管理されていない森林の付近に住んでいる地域住民が、土砂災害等の災害発生を危惧している。	
目的	
所有者が管理できず、荒れている森林を減らし、適切に管理の行き届いた森林にする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
令和2年度に市内森林所有者に制度周知のお知らせを送付。令和15年度まで、市内を13地区に分けた地区ごとに意向調査を実施予定。意向調査は、令和2年度から令和5年度まで栗林地区、鶴住居・片岸地区、箱崎地区、釜石東部・両石地区で実施済み。 ①森林経営管理制度推進業務②林業の担い手確保・人材育成業務ほか		
事業費		
R 8	R 9	R 10
54403 千円	54403 千円	54403 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
当該事業は、森林経営管理制度の推進や市産材の利用促進等を通じて、地域林業の活性化・成長産業化に資する重要な取組である。 引き続き、関係機関と連携し、森林資源の循環利用と担い手確保を含め、着実に事業を推進されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	和山牧場奨励金事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	27-8426
施策②	農林畜産業施設の適切な維持管理と整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
5つの柱	産業の振興	補助・単独	補助
事業期間	令和元年度～令和10年度		
事業の概要			
釜石市内における農畜産業の法人等に対し、和山牧場の利活用を奨励するために牧場の活用実績に応じた奨励金の支払を行うもの。 現在、和山牧場にあげている釜石市内の畜産業者の牛の頭数は15頭前後に推移しており、牧区の全体利用は困難となっている。頭数が増えることにより和山牧場の多面的機能が向上し、山林化を防ぐもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
和山牧場の活用は地域課題として、あげられている。 市内畜産農家の減少に伴い、牧場の利活用が減少しており山林化が問題となっている。山林化による多面的機能が低下することが懸念されている。
目的
和山牧場の利活用を推進し、牧区を利用してもらうことにより牧区山林化を防ぎながら、地域振興を図る。 牧区が活用されることで牧場内の多面的機能が維持されることが期待される。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
和山牧場の利活用を推進するために、一定条件以上の事業者に対して、奨励金を支給する。また、期間を区切ることで和山の活用と収益の検討を実施させることで、自立を促していく。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
2000 千円	2000 千円	2000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
和山牧場を活用した放牧の推進により、畜産経営の安定化や担い手の確保を図るとともに、遊休地の有効活用に資する重要な事業である。奨励金の交付を通じて、放牧利用の定着と段階的な拡大を促進し、地域畜産の振興及び持続可能な農業経営の確立に向け、事業を推進されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	畜産業基盤整備事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	農林畜産業施設の適切な維持管理と整備	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	新規
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～令和10年度		
事業の概要			
<p>第一農場である栗林町の養鶏農場を令和6年4月より操業を開始し、順調に計画羽数の生産に向けて事業を行っている。</p> <p>釜石市内において、第三農場までの計画を検討していただいている。第二農場の候補地が和山牧場内の遊休農地で整備が進められており、操業開始に向けて積雪に伴う交通を可能とするため、道路整備を実施するもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>第二農場の建築が進んでおり、令和8年度に竣工の可能性も出てきている。</p> <p>釜石市内において、積雪が多い地域となっており、給餌車両が冬季でも毎日行き来が必要となる。現地にて、必要な道路改良の協議を行い、必要となる道路部分の改良を行うもの。</p>	
目的	
<p>濡れた路面や冬季の積雪に対し、適切な改良を加えることで安全性を確保しながら、車両交通状況を改善する。特に隣接する養鶏農場には、毎日の給餌車両が必要であることから、確実な改良を要する。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>県道35号線から市道に入る交差点の角度が厳しいため、10tダンプの給餌車両の通行が困難となることが予想される。</p> <p>交差点から株式会社オヤマファームの農場までの道路改良を行うもの。</p>		
事業費		
R 8	R 9	R 10
15000 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
<p>本事業は、畜産業創出に向けた基盤整備として一定の成果が認められる。道路整備を含めた受入環境の整備を計画的に推進されたい。</p>			

1. 事業の概要等

事務事業名	農業用施設改修事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	農林畜産業施設の適切な維持管理と整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	新規
5つの柱	産業の振興	補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～度		
事業の概要			
<p>当市の農業施設(農道・農道橋・取水堰・排水施設等)の一部は老朽化しており、安全安心な農業活動に支障が出ている状況のため、国が策定した「土地改良施設等のインフラ長寿命化計画」に基づき、令和2年度に策定した「釜石市農業用施設長寿命化計画」により、補修が必要な施設について計画的に補修工事を行うもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>令和2年度に策定した「釜石市農業用施設長寿命化計画」にて調査点検した施設のうち、構造物の機能に支障が生じている施設が6箇所確認されたことから、安全かつ効果的な農業活動のため、補修工事を実施するものである。</p>	
目的	
<p>機能に支障が生じている施設である取水堰の水門6箇所を補修し、安全かつ効果的な農業活動の基盤を確保する。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>①大畑頭首工の水門補修 1基（令和4年度施工）②狐鼻水路の水門補修 1基（令和6年度施工予定）③日向頭首工の水門補修 1基（令和6年度施工予定）④農業用施設点検業務委託 1式（令和7年度実施予定）⑤日の神頭首工の水門補修 1基（令和7年度施工予定）⑥大畑頭首工の水門補修 1基（令和8年度施工予定）⑦洞泉頭首工の水門補修 1基（令和9年度施工予定）</p>		
事業費		
R 8	R 9	R 10
6000 千円	6000 千円	6000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
<p>本事業は、農林畜産業施設の安全性及び有効性を確保し、安定した農業活動を支える基盤として重要である。老朽化等により修繕を要する施設については、必要性や緊急性を十分に精査したうえで、計画的かつ適切に修繕を実施し、施設機能の維持・向上に努められたい。</p>			